

# ORICNEWS

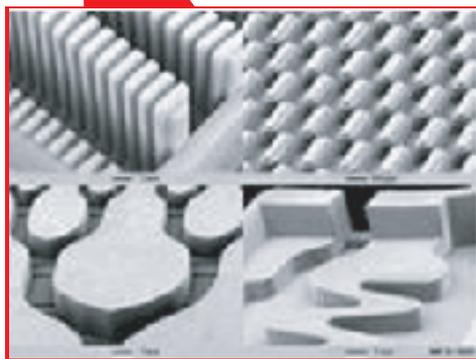
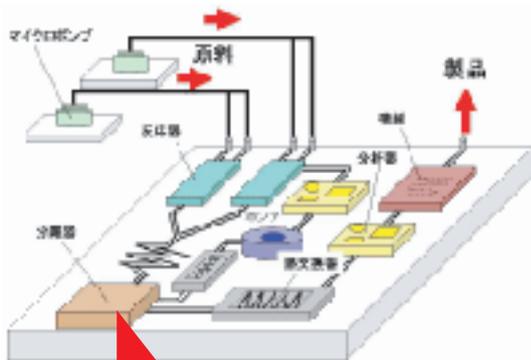
# 翔飛 ひしろう

入居企業紹介

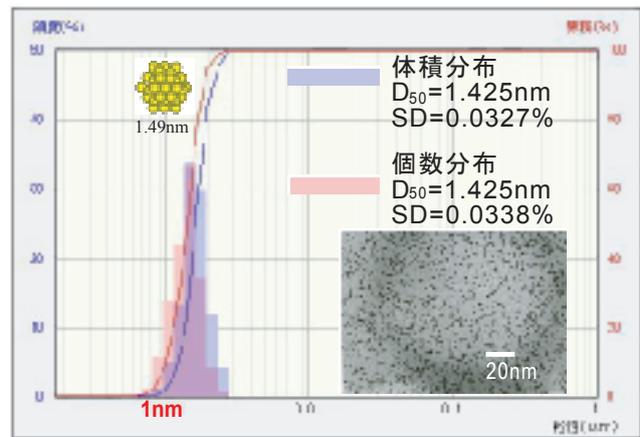


株式会社

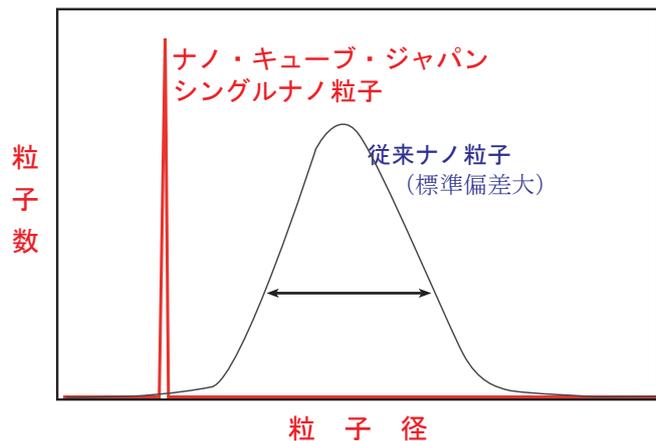
## マイクロ化学プロセス： 化学装置の「集積回路」



1mm



## Ptナノ粒子の粒子径分布



詳細は7ページをご覧ください

### 一本号の主な内容

- 巻頭言
- 研修・交流会活動
- 入居者の活動・トピックス
- 入居・卒業企業紹介
- イベント案内
- 新入居者の紹介

No.15 (2007.1)

[寄稿]

## 「自立と協働で実現！快適生活県おかやま」

岡山県知事 石井 正弘



新年あけましておめでとうございます。

大成功を収めた「晴れの国おかやま国体・輝いて！おかやま大会」の感動を胸に、昨年は「人の和」「県民力」で「自立」と「協働」の県政を推進してまいりました。

県民総ぐるみで進める安全・安心なまちづくりの基本となる岡山県犯罪のない安全・安心なまちづくり条例の施行や、子育て家庭を応援する「ももっこカード」の発行など、各地で県民の皆様と行政との協働の輪が着実に広がるとともに、インド・マハーラーシュトラ州、プーネ市等との友好交流協定やベトナム政府との経済交流の覚書の締結、中国・西安市、上海市等との友好交流や経済交流の促進など、元気な岡山の発信にも努めました。

この4月からは、夢と希望にあふれる「快適生活県おかやま」の実現のため「新おかやま夢づくりプラン」をスタートさせます。新プランは、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、その実現に向けて、重点的に取り組む行動計画という2つの性格を持っています。2020年ごろを展望した長期構想では、安全で安心な活力ある地域で人々の心が通う「いきいき岡山」と、中四国の拠点としてグローバルに発展する「きらめき岡山」の2つの姿を描いた上で、自立力と将来の発展可能性を備えた「中四国州」を目

指すこととしています。その実現に向けた5年の行動計画では、「教育と人づくりの岡山」の創造、「安全・安心の岡山」の創造、「産業と交流の岡山」の創造の3つを基本戦略として、施策・事業に数値目標を設定し、県民の皆様と協働で目標達成に向け取り組んでまいります。

とりわけ、「産業と交流の岡山」の創造では、競争力のあるものづくり産業の振興と、それを支える基盤整備に重点的に取り組み、産学官の連携強化による新たな産業基軸の構築を図っていくこととしております。

こうした中、ベンチャー育成の中核施設である岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は全国的にも有数のインキュベーションセンターとして大きな役割を担っているところでありますが、幸い入居者の中には海外企業との提携により業務が順調に進展しているベンチャー企業や、高度な技術力や将来性により注目を集める企業も育っており、今後世界に向けて大きく羽ばたいて行くことを期待しているところでございます。

引き続き、県民の皆様の方強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



## ■ 10月度ORIC交流会及びセミナー

### ● 入居企業紹介

#### 「マイクロリアクターを用いたシングル・ナノ粒子触媒の開発」

(株)ナノ・キューブ・ジャパン

代表取締役中崎義晃氏より、同社の紹介がありました。同社は、平成18年9月よりORICに入居し、この10月に登記されたばかりのベンチャー企業です。しかし、その提供する製品は、国家プロジェクトの達成成果を上回る性能を有しています。(詳細は、7ページをご覧ください)



### ● ゲスト機関紹介

#### 「中小機構の販路開拓コーディネート事業について」

(独)中小企業基盤整備機構 近畿支部



(独) 中小機構近畿支部販路開拓プロジェクトマネージャー高島和夫氏から「中小機構の販路開拓コーディネート事業について」ご紹介頂

きました。同事業の対象となる企業は、①製品が既に出来上がっている②販路としてターゲットがありどうアプローチしていくか、新たなターゲットを探したい、という企業です。企業にとっては、①コーディネーターが帯同するので、単独ではアプローチ出来なかった企業にもマーケティングが可能、②新たなターゲット市場や顧客が見えてくる、③3ヶ月の活動期間中のコストは不要、等のメリットがあり、販路開拓に有効な制度であることや事業の採択条件として商品力、経営力に加えて地元の支援が評価されることが紹介され「是非とも活用されたい」とのことです。

### ● ORICセミナー

#### 『中小・ベンチャー企業の契約に関するリスクマネジメント』

顧問弁護士小林裕彦氏が標記テーマで、具体的な契約書案を説例にしてセミナー参加者に考えて貰いながら解説を行うという形式で進められました。今回は大手企業から仕事の打診を受けた中小・ベンチャー企業に送られてきた契約書の案文を例として①どの条文にリスクがあるのか、②契約書案を訂正するとすればどこをどのように修正すべきか、等について説明されました。具体的な留意事項として、契約書に「別途定める個別契約など」がある場合には、特に要注意であり、別途の個別契約の内容をよく吟味する必要があること、例として、別途定める価格表や納期、在庫の取扱いに関する事項等が挙げられた。また、製造物責任についても、条文の中で責任を押し付けられないようする事や損害賠償

請求の項目が過度な負担とならないようにする事など、契約内容を吟味しておくことの重要性が説明されました。中小、ベンチャー企業が大手企業からの仕事を請負う場合に、「契約に落とし穴がないように内容の吟味が重要である事を改めて認識する事が出来た」と参加者から好評を得ました。



## ■ 11月度ORIC交流会及びセミナー

### ● 卒業企業紹介

#### 「最新のeラーニング学習システムご紹介」 日本リズテック(株)

平成18年3月末にORICを卒業した日本リズテック(株)代表取締役国富郷太郎氏から「最新のeラーニング学習システム」を紹介していただきました。同社はeラーニングシステムを開発すると同時に、ASPサービス事業も実施しています。開発した教材作成システムの特徴は①手書き文字、音声、動画を使ったリアルな講義が実現できる②今まで使っていた資料・文書・教材をそのまま使用できることです。

従来のeラーニングシステムは、コンテンツを一方的に配信するものが多かったが、本システムでは動画やクイズを任意のタイミングに挿入

することが容易になり、効果的なマルチメディア講義コンテンツが作成できます。実際に小学校から大学まで使用されており、今後は生涯学習や一般企業内での研修などへ広く採用されていくものと期待されています。



### ● ゲスト機関紹介

#### 『倉敷芸術科学大学の学部紹介と産学連携について』

##### 倉敷芸術科学大学 教育研究支援センター

倉敷芸術科学大学教育研究支援センター所長小山悦司氏から大学の学部紹介、産学連携の状況等についてご説明頂きました。同大学は平成7年4月に芸術と科学の融合をコンセプトにして創設され、現在は3学部に400名の教職員と2千名の学生を擁していること、産学連携については、企業ニーズと大学シーズのマッチング窓口とし

て昨年、教育研究支援センターが新設されたことや、平成18年度文科省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに「倉敷市内に4年次の学生が職務体験するためにITサポート会社を設立する」という同大学のプログラムが採択されていること、などのご紹介がありました。

### ● ORICセミナー

#### 『知的財産権の活用に関する実務知識 —譲渡・ライセンスを中心として—』



ORIC顧問弁理士笠原英俊氏により「知的財産権の活用に関する実務知識—譲渡・ライセンスを中心として—」というテーマで知的財産の利用メリット、譲渡とライセンスの違い、他人に自分の権利を使用させる方法(ライセンス)等、知的財産権の活用について「しまった」と後悔しな

いように、権利者と譲渡やライセンスをうける人が協調していくという観点から、実例を基に分かり易くご説明がありました。また、譲渡やライセンスを受ける場合は、事前にその特許の価値がどの程度のものかという評価が重要であり、契約の前に事前テスト等を行って評価する必要がある事、共同出願については、共同出願者の承諾がないと譲渡できないので、共同出願にする必要性について十分検討する必要がある事、特許権は出願日から20年、実用新案権は10年と有限である事、実用新案権は審査をせずに登録されるので内容を良く吟味しないと買った後で思わぬ損害を被る事がある事、権利者と契約する場合に口約束は避ける事などの実務上の留意点の解説、その後の活発な質問にも丁寧にご回答頂きました。

## ■ 「セールスステップ商談会 in ORIC」の開催

ORICでは経営コンサルタントの㈱ワイ・ブレインとの共催で、優れた製品・技術などを持ちながら、販売力が弱い入居企業や一般中小企業に向けて、セールスステップ(販売代行業者)とのマッチングを図る「セールスステップ商談会in ORIC」を平成18年11月22日に開催いたしました。

当日は事前に登録した11企業が、東京、大阪、岡山などから集まった9人のセールスステップに対して、自社製品の特徴、メリット等を熱心に説

明し、販売に繋げようとプレゼンテーションを行いました。

当日飛び入りで参加したセールスステップ企業もあり、また、見学のみで様子見をしてきた企業も、次回はぜひ参加したいと希望していました。ORICでは、今回の商談会による成約やマッチングの成果をフォローして今後に繋げていきたいと考えています。



プレゼンテーションの様子



フリー商談会の様子

## 入居者の活動・トピックス

### ■ 国際福祉機器展

ユニバーサルテクノロジーズ、メディエリアサポートが出展

去る平成18年9月27日(水)～29日(金)の3日間、東京ビックサイトに於いて「第33回国際福祉機器展2006」が開催されました。国内554社、海外16カ国78社より25,000点にのぼる福祉機器が展示され3日間で13万人を超える来場者で賑わいました。ORICからは、㈱ユニバーサルテクノロジーズ、メディエリアサポート(企)の2社が「ハートフルビジネスおかやま」枠で出展。平成18年度「岡山我が社の技」に認定された㈱ユニバーサルテクノロジーズは、固化してもカチカチにならず柔軟な、今までにない保冷剤を利用した冷房スーツ「カーナピュア」を展示。同商品は介護用途だけでなく鋳物工場など高熱作業現場作業員やカーレースドライバー向けなどの産業用途にも大きな需要が見込まれており、既に同分野での受注も受けて、今後の拡販が期待されています。来場各社と商談を行い「来年からの本格販売に手応えあり」との河原社長感想でした。

メディエリアサポート(企)は、国里代表が従来にはない軽量・小型化で簡易な操作性を持つ「E

MGマスター(筋電図評価システム)」を紹介しました。このシステムはリハビリテーション(理学療法)分野で筋力向上の有効な評価法を提供するもので、理学療法の現場で、リハビリ中の筋活動の量的側面と質的側面が画面にリアルタイムに表示される画期的な商品として注目を集めていました。

今回は、平成19年10月3日(水)～5日(金)に同じ東京ビックサイトで開催予定。出展募集は、平成19年2月1日～3月30日です。



## ■ ベンチャープラザ岡山

ORIC入居企業出展。ビジネスプランコンテストで㈱ナノ・キューブ・ジャパンが最優秀賞受賞

去る、平成18年11月14日(火)コンベックス岡山において岡山県、岡山県産業振興財団主催により、①新製品等展示、②ニューマーケット商談会、③ベンチャー・ビジネスプランコンテスト、④OB人材活用支援事業を目的とした「ベンチャープラザ岡山2006」が開催されました。入居企業からは、世界初の安定・持続型ビタミンCの㈱アスコルバイオ研究所、耐盗聴・耐改竄性オンライン認証システムのアナハイムエンジニアリング㈱、対話型キオスク端末インタートークボードのインタロボット㈱、自動検針システムの㈱シスコ・コミュニケーションズの

4社が、また、卒業企業は㈱エイムテクノロジーが光干渉膜厚測定器をそれぞれ展示しました。

会場内で同時開催されたベンチャー・ビジネスプランコンテストでは、入居企業の㈱ナノ・キューブ・ジャパンが「マイクロ空間特殊反応場を用いたシングルナノ粒子の連続調製」というテーマで最優秀賞を、また、プレ・インキュベーションルームに入居して起業準備中の佐藤氏(現ノバディックバイオサイエンス㈱)が「抗体医薬品の安全で効率的な製造を可能にする新規プロテインAの開発」で奨励賞を受賞しました。



アスコルバイオ研究所のブース



シスコ・コミュニケーションズのブース



ビジネスプランコンテストの様子

## ■ 全国インキュベーションフォーラム

ORIC入居企業出展、「中小企業総合展」「全国的・産業クラスターフォーラム」が同時開催

去る、平成18年11月29日(水)～12月1日(金)の3日間、東京ビックサイトにおいて中小企業基盤整備機構主催による「全国インキュベーションフォーラム2006」が初めて開催され、全国からインキュベーション施設入居企業等が集結、製品・サービスの展示やプレゼンテーションを行いました。同時に「全国的・産業クラスターフォーラム」、「中小企業総合展2006 in Tokyo」、「地域先端テクノフェア2006」が開催。全国インキュベーションフォーラムにORIC入居企業は、㈱アスコルバイオ研究所が「世界初の安定・持続型ビタミンC」を、アナハイムエンジニアリング㈱が「耐盗聴・耐改竄性オンライン認証システム」を、㈱ナノ・キューブ・ジャパンが「マイクロ化学プロセスによるシングルナノ粒子連続調製」を、㈱光フィジクス研究所が「ダイヤモンドバイト検査装置」をそれぞれ展示し、内3社はプレゼンテーションも実施しました。ORICもブースを設

けて入居者募集と今回未出展企業の商品PRやパネル展示を行いました。また、中小企業総合展には入居企業のメディアエリアサポート(企)が「軽量・小型化、操作性も価格もやさしい筋機能評価システム」を、卒業企業のオーニット㈱が「家庭用、業務用の高性能オゾン発生装置」を、全国的・産業クラスターフォーラムには入居企業の㈱日本ステントテクノロジーが「ステント形状最適設計と高性能薬剤コートステントの開発」というテーマで冠状動脈用薬剤コートステントをそれぞれ出展しました。本フォーラムには3日間で47,797人が来場、各企業への具体的な商談もあり盛況裡に終了しました。



アナハイムエンジニアリングのプレゼンテーションの様子



光フィジクス研究所のブース

## 株式会社 ナノ・キューブ・ジャパン



代表者 代表取締役社長 中崎 義晃  
 連絡先 岡山市芳賀5303 ORIC 104、105号室  
 TEL 086-201-6697 FAX 086-201-6698  
 URL <http://www5.ocn.ne.jp/~ncj/>  
 E-mail qq9k5u39k@lily.ocn.ne.jp

## ●事業概要

同社は、マイクロリアクターによる新しい化学反応の精密制御技術を用いて、金属ナノ粒子の製造を行っています。ナノとは、10億分の1を意味しており、1ナノメートルは、10億分の1メートルのことです。同社は、わずか数十個の原子が集まっただけの超微小粒子を製造する能力があり、白金を用いた場合は、たった13個の白金原子が集まっただけの直径0.9ナノメートルの粒子の製造が可能とのこと。

## ●PR・強み

同社の金属ナノ粒子は、その形状の均一性と高い分散性が特徴です。本誌の表紙の図は、同社製品の高度な均一性を表現しています。同社のナノ粒子径の標準偏差は0.033%と極めて小さく、他社の実績の300倍強の狭い半値幅となっており、明らかな粒径分布の優位性が見られます。

また、分散性が高く、ナノ粒子の有効な表面積が大きいという特徴があります。これは、触媒として利用する場合、非常に大きなメリットになります。

マイクロリアクターを利用する場合は、従来の化学工業のように量産のためにプラント規模を拡大する検討が不要になり、単にリアクターの台数を増やすことで対応できるので、素早い量産展開が可能になるとのことです。

## ●これまでの歩み

代表者の中崎氏は、大坂府立高専の教授時代からこの技術の研究を行っており、その成果を基に起業されました。また、平成18年度の岡山県ベンチャービジネスプランコンテストにおいて最優秀賞を獲得されました。

## ●今後の予定

金属ナノ粒子は、排ガス処理などの触媒としての用途だけでなく、電子材料・配線材料、医薬品・化粧品への応用、燃料電池の電極や水素分離膜など、様々な産業への展開が考えられます。同社は、その優れた技術を基に、ナノテクノロジーの新たな市場の創成に向けて発展してゆくものと期待されます。

## 卒業企業紹介

## 株式会社 バイオバンク



代表者 大平猪一郎 大平真澄  
 連絡先 〒700-0822 岡山市表町1-7-15  
 パークスクエア SHOWA601  
 TEL 086-801-2231 FAX 086-222-0622  
 URL <http://www.omx.co.jp/>  
 E-mail biobank@omx.co.jp

## ●事業概要

同社は、乳酸菌で植物原料を発酵させた健康食品「OM-X」およびそのエキスを利用した化粧品の製造・販売。また家畜用に乳酸発酵させた混合飼料「ぼっけえー牧場」、農業用の特殊肥料『BTO』、消臭・堆肥化促進剤「アミントール」の研究・開発・販売を行っています。

## ●PR・強み

乳酸菌による植物発酵（健康）食品「OM-X」は、代表の大平氏が「人々の長寿と、健康を願う」の思いを込めて、「非化学的醗酵方法」で作ったペースト。厳選された食材を1～3年掛けて仕込み、その後ゆっくりと自然の温度で熟成させています。乳酸菌が、醗酵を助け、素材の効果効能の他にも、さまざまな産生された成分が体に優しい物を作り出しています。人に優しいものは動物にも効果があると考え、家畜

用飼料を開発したところ大変好評を得ているとのこと。

## ●これまでの歩み

乳酸菌を利用した発酵技術及び微生物管理技術を培い、植物性乳酸菌を用いた植物発酵食品（栄養補助食品）を製造販売してきました。この商品は現在、東南アジアを中心にアメリカなどの海外や国内に販売網を拡大しています。

- 昭和49年 ㈱生物活性研究所設立
- 平成2年 海外で乳酸菌利用植物発酵（健康）食品「OM-X」発売
- 平成8年 国内で酸菌利用植物発酵（健康）食品「OM-X」発売
- 平成12年 ㈱バイオバンクに社名変更
- 平成13年 「OM-X」エキス配合化粧石鹸発売

## ●今後の予定

OM-XおよびOM-X派生品の機能性を臨床試験で証明し、販売の拡大、新商品の開発に力を入れ、また動物用飼料及び畜産農場・生ごみ処理場に対する消臭・堆肥化促進剤の販売の拡大を目指しているということです。

■ リサーチパーク研究展示発表会

平成19年1月26日に、テクノサポート岡山において第11回岡山リサーチパーク研究・展示発表会が開催されます。この発表会は、岡山リサーチパークを中心とする大学、研究機関、企業の研究成果を広く発表する場として実施されます。

記

1. 日時：平成19年1月26日（金）
2. 場所：テクノサポート岡山
3. プログラム
  - 10:45～15:00 展示発表セッション
  - 15:15～16:45 特別講演会
  - 『電気自動車「i（アイ）MiEV」の開発』  
三菱自動車工業㈱  
技術開発本部副本部長 橋本 徹 氏  
以上

■ O I A セミナー

「平成19年度 中小・ベンチャー企業向け公的支援メニュー紹介」

平成18年度第3回O I A（岡山インキュベータ協議会）セミナーが下記要領にて開催予定です。皆様のご参加をお待ちしています。詳細は岡山県産業振興財団、ORICの各ホームページをご覧ください。

記

1. 日時：平成19年1月19日（金）  
13:15～15:30（時間は予定）
2. 場所：ORIC交流サロン
3. 講師：岡山県産業労働部、  
岡山県産業振興財団 担当（予定）
4. テーマ：  
「知って得する支援情報 平成19年度  
中小・ベンチャー企業向け公的支援  
メニュー紹介」他（予定）

以上

新入居者案内

第15回入居審査会が開かれ、厳正なる審査の結果、下記1社が新たに入居しました。

入居内定企業名 代表者	事業の概要	所在地	分野
(株)バイオ・タキソール 代表取締役社長 濱田 博喜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳ガン・卵巣ガン等の抗ガン剤として最大売り上げのある「パクリタキセル」（商品名タキソール）の水溶化による副作用低減化のための研究開発</li> <li>・コエンザイムQ10を配合した保健機能食品や沖縄の食材を使った健康食品の企画、販売</li> <li>・沖縄の薬草サクナと、コエンザイムQ10を配合した化粧品類の企画、販売</li> </ul>	岡山市	バイオ

入居希望者募集中！！

■施設使用料

創業5年未満の企業は入居後3年間は1/2に減免する制度があります。

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室 小	約 25㎡	22	45,000円
研究室 大	約 50㎡	30	88,000円
試作開発室	約 100㎡	6	175,000円
プレインキュベーション室	6ブース (5㎡/1ブース)		5,000円

■次回募集

原則として3ヶ月毎に入居審査会を開催しています。今回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。

※プレインキュベーション室の募集は随時受け付けています。

(参考)【入居可能研究室】(2006年12月1日現在)

研究室小 (25㎡)	: 6室
研究室大 (50㎡)	: 10室
試作開発室 (100㎡)	: 3室